

令和6年度決算

諫早市のお**財布**事情

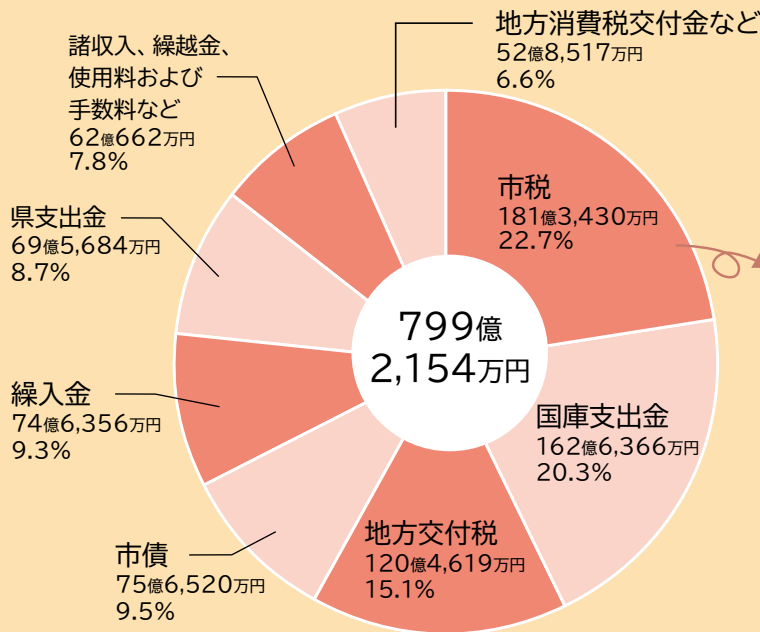


一般会計

福祉や教育・防災など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です

令和6年度、本市にどのくらいの収入があり、どのように使われたのか。決算の概要をお知らせします。(財政課)

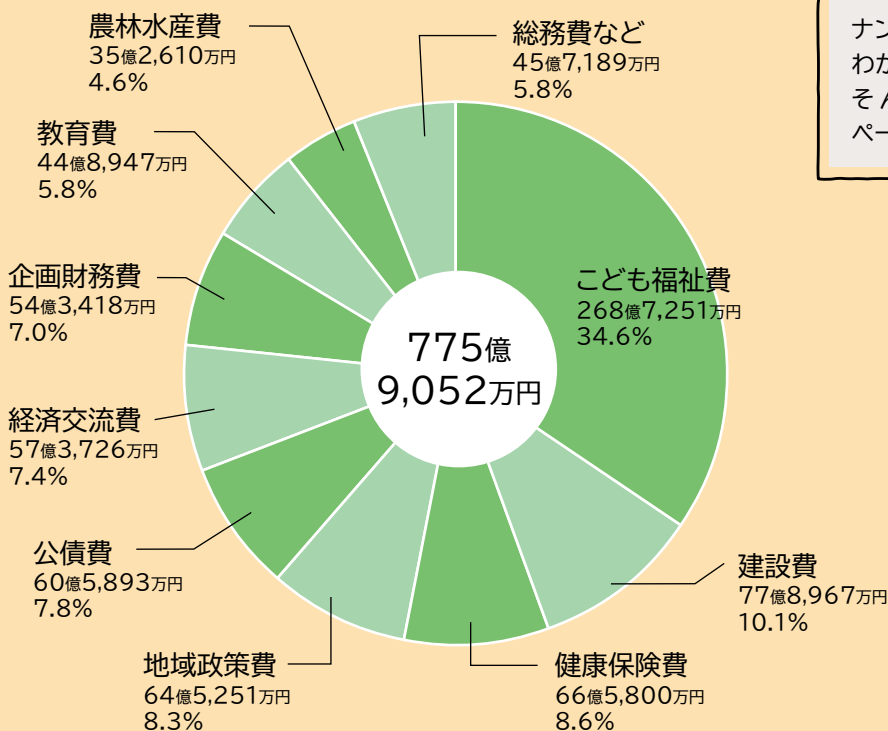
一般会計 歳入



市税の内訳

種別	税目	金額 (万円)
普通税	市民税 (個人)	58億4,753万円
	市民税 (法人)	11億3,958万円
	固定資産税	83億7,264万円
	軽自動車税	6億 45万円
目的税	市たばこ税	10億6,945万円
	都市計画税	11億 211万円
	入湯税	254万円

一般会計 歳出



ナンだって!?
わかりにくい!
そんな君は次の
ページをチェック!!



月収
30万円の

いさはや家の家計簿

収入

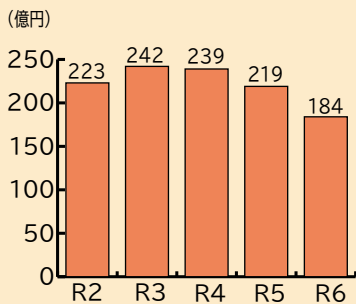
●給料など (市税、地方交付税、財産収入、使用料、手数料など)	14.9万円
●親からの援助 (国県支出金)	8.7万円
●前月の残金 (繰越金)	0.6万円
●貯金の取り崩し (繰入金)	2.8万円
●その他 (寄付金)	0.2万円
●ローンの借り入れ (市債)	2.8万円
合計	30万円

支出

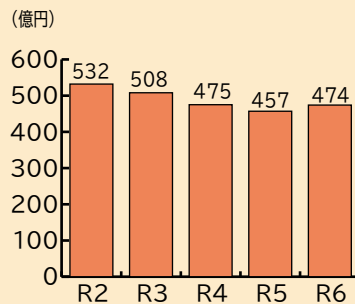
●食費 (人件費)※1	3.2万円
●医療費・教育費など (扶助費)※2	8.4万円
●ローンの返済 (公債費)※3	2.3万円
●光熱費、通信費 (物件費)※4	3.0万円
●家や家財、車の買替・修繕費 (維持補修費、普通建設事業費など)※5	4.4万円
●貯金や投資 (積立金、投資・出資金、貸付金)	2.4万円
●子どもへの仕送り (繰出金、補助費など)※6、※7	5.7万円
合計	29.4万円

- ※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
- ※2 扶助費…社会保障制度の一環として、生活困窮者や障害者、高齢者、児童などへのさまざまな支援に要する経費
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
- ※4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
- ※5 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
- ※6 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費
- ※7 補助費など…各種団体に対する補助にかかる経費

基金（貯金）残高の推移



市債（借金）残高の推移



借金は計画的に返済し、将来の負担が過剰にならないよう管理しています。
健全化比率でもみても安心できる状況となっています。

健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字比率	赤字額なし	11.57%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字比率	赤字額なし	16.57%
実質公債費比率	借金返済額などの大きさから財政の弾力性を判断する指標	6.6%	25.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る指標	負担比率なし	350.0%

この指標を下回れば健全!





令和6年度 諫早市 イチ押しプロジェクト



学校給食費の 無償化

5億7,413万円

令和6年4月1日から、
市立小・中学校の学
校給食費無償化を始
めました

諫早公園 駐車場整備

3,041万円

駐車場と眼鏡橋周
辺の園路を整備し
ました



道の駅の整備

7億2,104万円

「道の駅251い
いもりじゃがー
ロード」を整備
しました



文化会館 大規模改修

10億1,471万円

開館から44年を迎えた
文化会館の大規模改修
を行いました



プレミアム付 商品券の発行

2億6,645万円

物価高騰対策として、
プレミアム付商品券を
発行しました



諫早市、どんどん
進化してます！



特別会計

保険料など特定の収入を財源に事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です

企業会計

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として事業を行う会計です

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	156億6,995万円	156億1,265万円	5,730万円
後期高齢者医療	23億4,333万円	22億2,037万円	1億2,296万円
介護保険事業（保険事業勘定）	142億5,173万円	140億9,331万円	1億5,842万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	5,971万円	988万円	4,983万円
駐車場事業	3,448万円	2,967万円	481万円
墓園事業	7,255万円	2,185万円	5,070万円
計	324億3,175万円	319億8,773万円	44億 402万円

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

詳しく知りたい人は、
市ホームページを見てね！



区分		収入済額	支出済額
水道事業	収益的	31億6,181万円	28億 952万円
	資本的	4億9,467万円	20億9,235万円
工業用水道事業	収益的	5億 308万円	3億5,208万円
	資本的	4億4,221万円	8億5,256万円
下水道事業	収益的	55億8,478万円	45億4,138万円
	資本的	33億7,019万円	54億5,332万円

企業会計とは、独立採算（その収入でその支出を賄う）事業

●収益的収入…水道料金、使用料など ●資本的収入…企業債、補助金など

●収益的支出…維持管理費など ●資本的支出…工事費、企業債償還金など

資金不足比率

公営企業会計（本市は水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計が該当します）の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。本市は資金不足はありません。

名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0%
工業用水道事業会計	資金不足なし	
下水道事業会計	資金不足なし	

CHECK

令和7年度 上半期の予算執行状況

一般会計・特別会計

会計別	予算現額	収入・支出の状況		
		収入済額	支出済額	
一般会計	736億6,100万円	40.7%	38.3%	
特別会計	国民健康保険事業	158億9,600万円	43.0%	38.8%
	後期高齢者医療	23億2,800万円	38.9%	38.3%
	介護保険事業（保険事業勘定）	146億8,123万円	36.9%	39.9%
	介護保険事業（サービス事業勘定）	1,100万円	482.6%	52.0%
	駐車場事業	3,800万円	51.8%	27.0%
	墓園事業	2,480万円	257.3%	37.7%
	計	329億7,903万円	40.3%	39.2%

企業会計

科目別		収入		支出	
		予算現額	収入済額	予算現額	支出済額
水道事業	収益的	31億4,232万円	45.4%	30億4,095万円	38.6%
	資本的	6億2,904万円	18.2%	37億 511万円	23.9%
工業用水道事業	収益的	4億9,285万円	52.7%	4億8,394万円	36.9%
	資本的	3億 546万円	0.0%	5億8,818万円	15.3%
下水道事業	収益的	54億6,491万円	46.8%	51億1,279万円	42.8%
	資本的	55億9,061万円	9.4%	73億5,513万円	25.8%

今年度も
多くの事業が
進行中！

財産・市債・市民負担の状況

（一般会計）令和7年9月30日現在（住民基本台帳 132,766人）

【財産】

- 土地 4,243万3,447㎡
- 建物 57万9,428㎡
- 有価証券 6,413万円
- 出資金 3億6,855万円
- 基金総額 166億7,052万円（市民1人当たり約13万円）
- （内訳）積立基金 160億3,842万円、運用資金 6億3,210万円

【一時借入金】

なし

【市民負担の状況】

- 市債現在高 444億9,559万円（市民1人当たり約34万円）

